

整理No. 2018-36		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生場所					
災害発生日時		2017年 12月14日(木) 15時30分			
災害区分		不休災害 <u>休業災害</u> (休業:1日)			
被災者	部門	技術部門		雇用形態 正社員、 <u>派遣</u> 、契約、その他()	
	年齢	28歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 0年	経験年数 0年
	傷病名	病名 (打撲)			
	傷病部位	左側後頭部			
災害発生状況	被災場所にて、試験片を作成していた際に発生。材料を大型クリッキングプレスで大まかにカット→貼りあわせ→小型クリッキングプレスで試験片サイズに型抜きしていく作業をしていたところ、周辺作業台に他の作業者の試験材料が置かれており、材料貼りあわせのスペースはあったが被災者のサンプルを置くスペースが無かった。その為、大まかにカットした材料を現場付近の床に一旦置き、それを拾って次の貼り合わせ作業を行うべく、一度屈んで立ち上がる際に、頭上にあつた大型クリッキングプレスのガイドレールにぶつて、打撲を負った		状況概略(写真orイラスト)		
	災害の型 ^{※1)} 3		作業の形態 <u>定常</u> 、非定常、その他()		
起因物:大型クリッキングプレスガイドレール		特記事項:安全衛生パトロールで指摘があつた場所			
原因分類	1.人的要因(man) ガイドレール近くで屈んで作業することへの危険予知不足。				
	2.物に関する要因(machine) ガイドレールが突き出しており、ぶつかり易い上に、保護材を着けていなかった。				
	3.環境要因(media) 床にサンプルを置くほどになるほど、作業台にスペースがない。				
	4.管理的要因(management) ヘルメットを着用していなかった。				
対策	1.人的要因(man) ガイドレールにクッション材を付ける。十分な作業スペースを確保する為、レイアウトの変更 1-2、1-4				
	2.物に関する要因(machine) クリッキング作業標準の改定。現場に安全啓蒙掲示の取り付け 1-6、2-4				
	3.環境要因(media) 作業台の2Sを実施 1-2、1-6				
	4.管理的要因(management) 課員全員分のヘルメットの購入と着用の義務付け 1-2、2-1				
備考	対策分類 ^{※2)} : 上記に記載				
	類似箇所の摘出:				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)